

基礎教育科目

講義科目

授業科目名	環境論入門	科目コード	配当年次	単位
担当教員	勝田 悟	AA75	1	2

科目の概要

「環境学」は、学術分野としてまだ新しい分野である。現在では、「予防」の観点を取り入れることが積極的に行われており、地球温暖化原因物質の排出権取引や環境商品の開発が経営戦略の中に取り込まれている。すなわち環境戦略が企業経営において極めて重要性を増しているといえる。

本科目では、環境分野の基礎的な「知識（理論）」と社会的な動向である「フィールド」を組み合わせ、学習を進めていく。

科目の到達目標

- ①環境問題の体系を理解し、その解決のためにはどのような行動が求められているかを説明できる。
- ②国内外で行われている環境問題対策について、実際の動向を理論的に考察することができる。

テキスト	『環境学の基本』勝田 悟, 産業能率大学, 2024年
------	-----------------------------

テキストの読み方

- ①「環境学」が、産業、一般公衆、経済界に理解されていけば、少しずつ改善されていく。経営学、法学、工学、理学、農学、医学、経済学、人文学などさまざまな学術分野での検討も必要である。
- ②人は、「有限な地球で果てしない欲求の追求」を続け、目に入らないリスクや目から遠ざけているリスクが存在している。特に自然に関わるものは、予想できないことが多いため、実感をもってリスクに対処することは簡単にはできない。しかし、自然を理解し、開発の考え方を変えていけば、自然のメカニズムに近づけていくことはできる。身近なところから少しずつ環境リスクの原因を減らし、その要因そのものをなくしていくことが必要である。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。